

産学官連携コーディネーターの

成功・失敗
事例に学ぶ

産学官連携の 新たな展開へ向けて

こうすれば大学が動く、
企業が乗り出す、
地域が発展する!!

平成21年度改訂概要第2版 (CD-ROM付)

平成21年9月

文部科学省産学官連携コーディネーター
文部科学省研究振興局研究環境・産業連携課

産学官連携コーディネーターの

成功・失敗

事例に学ぶ

産学官連携の 新たな展開へ 向けて

こうすれば大学が動く、
企業が乗り出す、
地域が発展する!!

平成21年度改訂概要第2版（CD-ROM付）

平成21年9月

文部科学省産学官連携コーディネーター

文部科学省研究振興局研究環境・産業連携課

発行にあたって

文部科学省では、研究開発マネジメントや新技術の事業化などに関する知識や実務経験を有し、企業ニーズと大学等シーズのマッチングや産学官共同プロジェクトの企画・調整など企業・地域社会と大学との橋渡し役を務める専門人材（産学官連携コーディネーター）により大学等を支援する「産学官連携活動高度化促進事業」を平成13年度から実施してきました。平成20年度からはこれを「産学官連携戦略展開事業（コーディネートプログラム）」へと発展させ、大学等における産学官連携活動の持続的かつ戦略的な展開を支援しております。

産学官連携コーディネーターの活動は、大学等のシーズと企業ニーズのマッチングから大学内外における産学官連携体制の構築支援、大学等シーズ創造の促進、目利きによるシーズから事業化へのつなぎを行うなど多岐にわたります。これら産学官連携を推進する上で不可欠な役割を果たす産学官連携コーディネーターには、科学技術から経営までの幅広い知識、マネジメント能力やコミュニケーション能力などの多様な能力に加え、経験や人脈などが求められます。

また昨年度より、我が国の産学官連携活動全体を活性化する観点から、産学官連携コーディネーターと他制度産学官連携人材との連携の強化や、若手人材の育成について、産学官連携コーディネーターの重要なミッションと位置づけ、積極的な推進を図っています。

このような産学官連携の最前線で活躍するコーディネーターの知識、能力、経験を活かした活動内容を知ることは、それが成功事例であるか失敗事例であるかにかかわらず、産学官連携関係者等にとって大変示唆に富むものであると思われれます。

こうしたことから、産学官連携コーディネーターがこれまでに経験した事例や獲得した知見等を集め、広く産学官連携関係者等に紹介・普及することを目的として、平成18年から平成20年に「産学官連携コーディネーターの成功・失敗事例に学ぶー産学官連携の新たな展開へ向けてーこうすれば大学が動く、企業が乗り出す、地域が発展する！！」を作成いたしました。

この事例集は、大学・高専等はもとより企業や地方自治体からの要望も多く、これまでに2万6千冊近くを提供するに至っております。

新年度を迎え、産学官連携コーディネーターの新たな活動事例を収載し、かつ携行し易いと好評を博した「平成20年度版」を改訂した「平成21年度版」を作成いたしました。また、活動事例の電子データをCD-ROMとして添付しています。

本事例集が産学官連携活動に携わられている皆さま、あるいはこれから携わろうとしている皆さまにとりまして、産学官連携活動の効果的・効率的な推進の礎となれば幸いです。

平成21年6月
文部科学省研究振興局
研究環境・産業連携課長
田口 康

第1章 シーズ発掘・ニーズ把握

第1節 大学等のシーズ発掘

1. 基礎科学高度集積研究の産業利用 2
2. 大型資金獲得で新たなステージへ 4
3. 高等専門学校でのシーズ発掘活動 6
4. 医工連携でシーズ発掘から育成へ 8
5. 継続的なシーズ発掘とその活用 10

第2節 シーズ情報の発信

1. 地域産業を基盤とした研究会立上げ 12
2. マップ集でマッチングの活性化 14
3. WEBベースで研究情報の提供 16

第3節 企業ニーズの把握

1. 技術相談有償化成功の鍵は“財布” 18

第2章 マッチング

第1節 ニーズとシーズのマッチング

1. マッチングの向上を目指す試み 22
2. 中小企業の目線で研究シーズ展示 24
3. 作業改善研究交流会から新商品開発 26

第2節 マッチングとコーディネート活動

1. カーボンナノファイバーの実用化 28

第3章 共同研究

第1節 多様化する連携形態とコーディネーターの役割

1. 地域資源を活用した商品開発 32
2. ベストサービスを提供する体質に 34
3. はき心地を追求した大人用オムツ 36
4. 共同研究を地域のビジネスに育成 38
5. 商品化された共同研究成果 40

第2節 共同研究制度・契約

1. 包括的連携で共同研究の質向上 42

第3節 研究資金獲得

1. 大型共同研究で企業化へ 44

第4章 知的財産

第1節 知的財産の創造・保護・活用

1. 出願に向けた特許マインド向上活動 48
2. 共同研究成果の第三者への供与 50
3. シーズ発掘試験で知的財産創出へ 52
4. 音源分離マイクロホンの実用化 54

第5章 ベンチャー育成・支援

第1節 ベンチャー起業・育成支援

1. バイオ産業バリューチェーンの構築 58

第6章 イノベーション

第1節 イノベーションを誘発する仕組み

1. 成果が続々、産産金学学大型連携 62
2. 大学の知を活用して地域の活性化を 64
3. 利用者発掘のための研究会開催 66
4. 産業拠点形成に向け着実に前進 68

第2節 イノベーションを創出するプロジェクト

1. 地域資源を活かした研究開発事業 70
2. 地域資源の有効活用 72
3. 地域資源を活用し産業拠点形成へ 74
4. 新たな視点で燃料電池計測装置開発 76
5. 生態系破壊の外来魚を高機能飼料へ 78
6. 手術用吻合補助器の開発支援 80
7. 紫外線 LED による殺菌装置開発 82

第7章 体制整備

第1節 連携のきっかけづくりのコツ・秘訣

1. 健康・予防医療分野の知の拠点形成 86
2. 産業振興を目指して医商工連携促進 88
3. 金融機関・県との技術相談体制構築 90
4. 公的機関と連携したもののづくり支援 92

第8章 地域との連携

第1節 地域との新たな連携基盤づくり

1. 大学が地域企業活性化の推進役 96
2. 北海道内4高専と地方銀行との連携 98
3. 産学公連携で地域企業ニーズに対応 100
4. 公設試との連携が技術移転を促進 102
5. 卒業生・在学生を巻き込んだ連携 104
6. 出前セミナーで地域の活性化を図る 106
7. 医学系大学と地域企業との連携促進 108

第2節 地域の発展に向けた取組み

1. 地域資源活用型共同研究で地域再生 110
2. 金融機関との新たな連携 112
3. バイオ燃料生産に向けた地域連携 114
4. ものづくり企業と農作業改善を支援 116
5. 公的機関、金融機関との産学官連携 118
6. 近畿地区国公立高専の学学連携 120
7. 産学官連携による地域資源の活用 122
8. 中小企業と学を結ぶ出会いの場 124

9. 地域とともに共同研究成果を売込む	126
10. 電撃効果で松原の環境保全	128

第9章 新たなる連携へ

第1節 学際的連携

1. 医学部を持たない大学の医工連携	132
2. 研究シーズがつかないだ学学地域連携	134
3. 学内異分野連携のスキーム構築	136
4. 感染症研究拠点の構築を目指して	138

第2節 広域的連携

1. 将来の理系人材の裾野を広げる活動	140
2. 高専連携で共同研究の大型化	142
3. 埼玉・産学連携推進の大学間連絡会	144
4. 校友会との協力による産学連携推進	146
5. 連携企画ツール「新連携シート」	148
6. 首都圏での学学連携セミナーの開催	150
7. 地域の取り組みを広域的な展開へ	152

第3節 他制度産学官連携人材との協働

1. 他制度人材との連携による研究会	154
2. 地域内大学、行政との産学官連携	156
3. 産学官「金」連携の制度化	158
4. 大学と市役所の熱意で地域が活性化	160
5. 他制度人材との連携から企業に貢献	162

第4節 産学官連携ネットワークの構築

1. 日本海7大学2TLOで技術移転組織	164
2. 産学官連携のためのネットワーク	166
3. 特徴を活かしたネットワークの拡大	168
4. 地域連携によるマッチング活動推進	170
5. 九州はひとつ！ネットワークで活動	172

第5節 国際的連携

1. 国際的連携拠点形成の新展開	174
2. 乾燥地共同研究から国際展開へ	176
3. グローバルネットワークの構築	178

第10章 人材育成

第1節 産学官連携人材の育成

1. 大学職員を産学官連携人材に育成	182
--------------------	-----

第2節 産業界の人材育成支援

1. 船舶工学大学院開設（寄付講座）	184
2. 技術相談から音楽療法士の夢実現へ	186
3. 土佐の食品産業を担う中核人材育成	188

巻末資料

○産学官連携戦略展開事業（コーディネートプログラム）	192
・ 事業概要	
・ 文部科学省産学官連携コーディネーターの活動内容	
・ 文部科学省産学官連携コーディネーター一覧	
・ 文部科学省産学官連携コーディネーターによる支援先一覧	
○競争的資金制度一覧（全府省）	198
○索引	200
・ 機関別索引	
・ キーワード索引	

各事例右頁下欄の連絡先はコーディネーターの支援先機関のメールアドレスを記載してあります。

なお、直接、コーディネーターとコンタクトを希望される方は、巻末の「文部科学省産学官連携コーディネーター一覧」をご参照ください。

<凡例：略称>

事例：成功・失敗例に学ぶ産学官連携の新たな展開に向けて

- 事例H 18：平成 18 年度版
- 事例H 19：平成 19 年度新版
- 事例H 20：平成 20 年度概要版